

競争を通じた強い絆と真の友情

経済学部国際経済学科 柴田舟吉/吉川宜希

(大阪産業大学附属高等学校出身/大阪府立 千里青雲高等学校出身)

高校時代も楽しかったです。学ぶことも多くあったと思います。ですが、何かを成し遂げたという達成感は、あまり得られなかったというのが正直なところですよ。みなさんはいかがですか。例えば、猛勉強の末に難関大学に合格したとか、日々の絶え間ない練習の結果何かの大会で全国 1 位になったとか・・・楽しいことはもちろん大切ですが、どこか満ち足りず、将来に対する強い不安・焦りを抱えていた私たちは、体育会系勉強部とも呼ばれる上級キャリアコースにそれぞれたどり着きました。

コースには、ERE をはじめとした検定試験などにチャレンジすることを通じて、ワノンランク上の就職・進路を実現するという明確な目標があることにくわえ、実際に長年に亘り実現され続けている高い成果があります。ということは、この目標に賛同のできるのであれば、それを高い確率で実現することも夢ではないということになります。このことは、今まで目標らしい目標を持たずに生きてきた、したがって、その実現のために努力らしい努力もしてこなかった我々を強烈に鼓舞するものでした。リアルな目標って本当に大切です。

とはいえ、コースでの勉強・指導は本当にハードであり、何度も心が折れそうになりました。「もう辞めたい」と思ったことも一度や二度ではありませんが、そもそも途中で自発的に辞めることは認められていません(成績不良や遅刻・居眠りなどで離脱を求められる場合があります)。では、どうやってこの危機を乗り越えたのか？ 仲間との助け合いです。上級キャリアコースは、競争原理を重視した指導を前提としていますが、同時に先輩・後輩・OB・OG さらには先生方も含めたメンバー間での協力も大いに重視しています。結果、本気の競争を通じた強い絆や真の友情が生まれるのです。これら絆や友情は表面的であったり薄っぺらいものではありません。多くのメンバーが「青春ドラマみたいやった」、「一生の仲間ができた」、「先生ら最高!」、「生きてきた中で一番しんどかったけど、一番おもしろかった」などというのはこのためではないでしょうか。付けくわえると、コースと平行して実施される週 1 回の無料課外講義というものがあるのですが、そこにはほぼ 100% のコースメンバーが参加しています。また、合宿や各種イベントも実施されますので、とても楽しいですよ！(楽しいと思えない人には、上級キャリアコースはまったく向いていません)

以上のような青春物語の末、我々は 2 人揃って第 1 志望の大手企業への就職を実現できました。大学生活を振り返ると、楽しかっただけでなく、達成感も手に入れることができました。そして今では、将来に対する希望で満ちあふれたポジティブな自分たちがいます。本当にコースに入ってよかったです。我々の体験談が、みなさんの参考になればうれしいです。